

<霊的備え>

主は大いなる方。大いにほめたたえられるべき方。主の聖なる山 私たちの神の都。
高嶺の麗しさは 全地の喜び。北の端なるシオンの山は大王の都。 (詩篇 48:1-2)

<理解の手引き>

アブラハムは、神の命令を受けた後、それをすぐに実行に移しました。彼は間髪を入れずに「その日のうちに」(23 節) 割礼を施したのです。この割礼は、神との契約のしるしであったからです。(11 節参)

ということは、アブラハムはこの信じられないような神の約束、アブラハムとサラとの間に子孫が与えられるという、その約束を信じ、受けとめたのです。

このアブラハムの神の御言葉に対する全き信頼と服従は、モリヤの山でイサクをささげることにしても示されます。このような、アブラハムの主の御言葉に対する従順さこそ、アブラハムを「信仰の父」と呼ばしめた大きな理由ということができます。

<考えてみよう>

(観察) 神がアブラハムに語り終えた後、アブラハムがすぐに行ったことは何でしたか？

.....
.....
.....

(解釈) 何故、アブラハムは、すぐにそのことを実行したのでしょうか？

.....
.....
.....

(適用) このアブラハムの主の御言葉に対する姿勢から、信仰について、どのようなことを学ぶことができますか？

.....
.....
.....

<心に残ったみことばや気づき>

.....
.....
.....

<今日の祈り> (教えられたことを短い祈りで表す)

.....
.....
.....